

聞き取り

もうひとつの

隔離

Yasunori Fukuoka  
福岡安則

ハンセン病療養所  
附属保育所に  
収容された  
子どもたちの人生

解放出版社

### 第1部 ハンセン病療養所 附属保育所を生きて

- 1 「本妙寺部落」狩り込みに遭う
- 2 一歳のときに「湯之沢部落」解散
- 3 今も残る「光田氏反応」の注射痕
- 4 浮浪児に非ざるも浮浪状態に近し
- 5 大浜女史に養子に誘われて
- 6 母は愛生園へ、子らは青松園へ
- 7 理解があるのと家族になるのは違う
- 8 生母と会ったのは中学生のとき
- 9 裁判で父娘関係認められず
- 10 保母と実母のはざまで葛藤
- 11 ダンスホールで見初められて
- 12 「龍田寮」最後の保母たち

### 第2部 ハンセン病問題にみる人生被害

- 13 台風避難でも除け者にされて
- 14 金城雅春、愛楽園に死す
- 15 娘だけでなく孫娘までも
- 16 担任教師の声かけで偏見の魔法が解ける
- 17 船が見えなくなるまで手を振っていた
- 18 平成になっても「子どもは産むな」と
- 19 消毒で「遺伝病」が「伝染病」になった
- 20 父不在を野球一筋で埋める
- 21 無人のジャルマ島で生まれて
- 22 愛児を養護施設に預けて再入所
- 23 「潜伏期間が長い」の言葉に呪縛されて
- 24 生まれ変わっても、父の子に生まれたい
- 25 親の毅然とした生き方が負のイメージを超克

ハンセン病問題に長年とりくんできた  
社会学者が、療養所附属保育所で育っ  
た人たちを中心にハンセン病罹患者の  
家族から丁寧に聞き取った苦悩の半生  
を語り口を生かして記録。

福岡 安則 (フクオカ ヤスノリ)

1947年生まれ。東京大学大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。埼玉大学名誉教授。博士(社会学)。  
部落差別問題、在日コリアン問題などの差別問題の調査研究に従事。2003年からはハンセン病問題にもかかわる。

四六判 並製 336頁 定価3,000円+税 ISBN978-4-7592-6814-0 C0036

(株)解放出版社

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37 HRCビル 3F TEL06-6581-8542 FAX06-6581-8552  
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-28-36 鳳明ビル 102A TEL03-5213-4771 FAX03-5213-4777

|        |     |   |
|--------|-----|---|
| ご注文日 / | ご担当 | 福岡 安則 著   |
|        | 様   | 聞き取り もうひとつの隔離<br>ハンセン病療養所附属保育所に<br>収容された子どもたちの人生<br>四六判 並製 336頁 定価3,000円+税 ISBN978-4-7592-6814-0C0036 |
|        | 冊   | (株)解放出版社 TEL06-6581-8542 FAX06-6581-8552  |